



# 2013年3月期 決算説明会

2013年5月13日

石油資源開発株式会社

# 注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

**Copyright:** 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。  
事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

注: 本資料において、1H、2H はそれぞれ上期、下期を、  
(a) は実績数値を、(e) は予想数値を示しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

石油資源開発株式会社 広報IR部 IRグループ 電話 03-6268-7111

# 説明会の内容

---

1. 事業概況

2. 2013年3月期 決算概要

3. 2014年3月期 業績予想

# 事業概況

代表取締役社長  
渡辺 修

# 当社経営理念と事業拡大の基本戦略

事業拡大に向けて、**E&P事業**を軸としつつ、E&Pの海外シフト、国内天然ガス、環境・新技術への新規投資を通じて収益機会の拡大を図ります。

## E&P事業

海外既存資産の  
価値最大化

国内既存資産の  
価値最大化

ステップ 1

投資の海外シフト

ステップ 2

生産量の増加

ステップ 3

埋蔵量の拡充

E&P: Exploration and Production  
(石油・天然ガスの探鉱・開発・生産)

## 国内天然ガス 事業

天然ガス需要開拓  
インフラ整備等

## 環境・新技術 事業

大型プロジェクト取組加速(CCS、MH)  
再生可能エネ等新規分野開拓

# 国内E&P事業の現況と再強化に向けた取組

2013年3月期においては、勇払油ガス田に係る事業用資産の減損損失を370億計上しましたが、原油・天然ガス販売価格上昇に支えられ、赤字幅は大幅に縮小いたしました。

国内事業においては、コスト削減や探鉱ポテンシャルの追求、天然ガス拡販と安定供給の確保により、価値最大化を図り、安定したキャッシュフローの構築を目指します。

## ■2013年3月期決算サマリー

【百万円】	12/3月期 通期実績 (a)	13/3月期 通期	
		修正予想① 10.26公表 (e)	実績(a)
売上高	230,638	222,228	231,086
営業利益	15,045	10,304	13,906
経常利益	22,159	18,855	28,082
当期純利益	17,027	▲11,630	▲865

370億円の減損を計上するも、  
原油・天然ガス販売価格の上昇等により、赤字を大幅に縮小

## ■国内事業の価値最大化

- ・操業コストの削減
- ・北海道内での探鉱ポテンシャルの追求
- ・天然ガス拡販と安定供給の確保



安定したキャッシュフローの構築による事業戦略の実現

# 14/3月期 国内探鉱計画

## ● 14/3月期 掘削スケジュール

名称	掘削深度	1Q			2Q			3Q			4Q		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
片貝SK-30D 片貝SK-30D-1	5,040 m 5,395 m	■	■	■									
あけぼの Loc.A6H	5,800 m							■	■	■	■	■	■
岩船沖東 Loc.Q	3,600 m				■	■	■						

## ■ 物理探鉱計画

2D震深 新潟県 新潟平野 (31km)

2D震深 新潟県 うおぬま (100km)

## ● 13/3月期 掘削結果

名称	掘削深度	1Q			2Q			3Q			4Q			結果
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
沼ノ端(T1) 東SK-3DH	2,275 m			■										成功
あけぼの(T1) SK-2D-1H	2,050 m												■	成功
片貝SK-29D 片貝SK-29D-1	4,900 m 4,940 m	■	■	■	■	■	■							成功
片貝SK-30D 片貝SK-30D-1	5,040 m 5,395 m										■	■	■	次期へ 継続



# 海外事業 重点地域での取り組み

## カナダ

オイルサンド(生産中&開発)  
シェールガス・LNGプロジェクト  
(ガス生産中 液化設備開発検討中)

Japex (US) Corp.(生産中)

サハリン1プロジェクト(生産中)

## サハリン

## 中東

イラク  
ガラフ油田(開発)

## 北アフリカ

## 東南アジア

カンゲアン鉱区(生産中&開発)  
アチェA鉱区(開発&探鉱)  
ユニバースガスアンドオイル(生産中)  
日本コールベッドメタン(探鉱)

重点地域

● 連結子会社及び持分法適用関連会社が  
権益を保有する鉱区



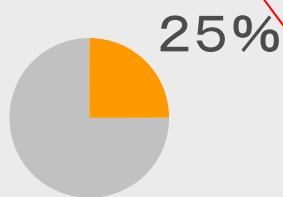
# 海外事業現況 ① インドネシア カンゲアン鉱区



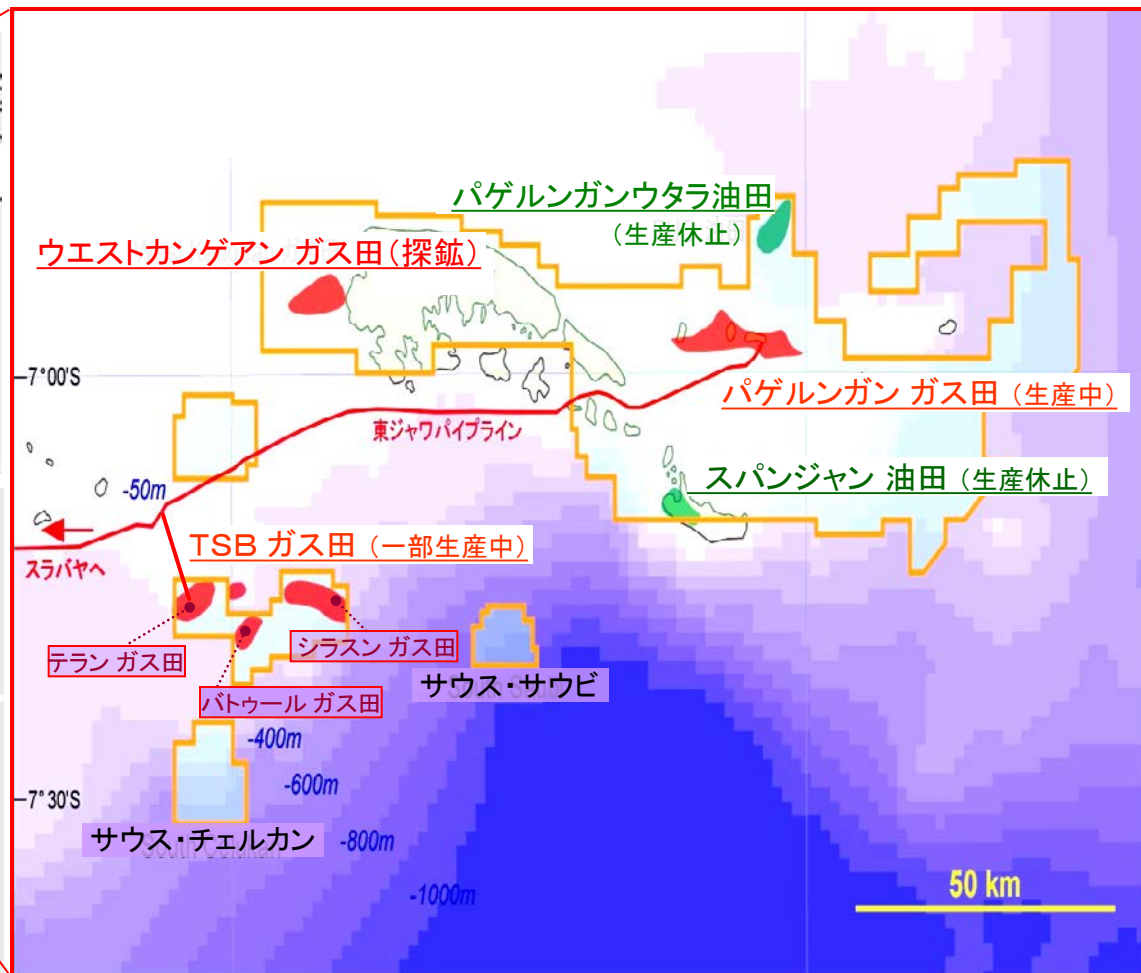
プロジェクト  
会社

**Kangean Energy  
Indonesia Ltd. (KEI)**  
他2社：持分法適用会社

権益比率



オペレーター：KEI



■ 現在の生産規模は、原油換算約5万boe/d

□ TSBガス田(Phase1 テラン)：2012年5月末生産開始、最大生産3億cf/d(原油換算約5万boe/d)  
(Phase2 シラスン、バトゥール)：開発準備中

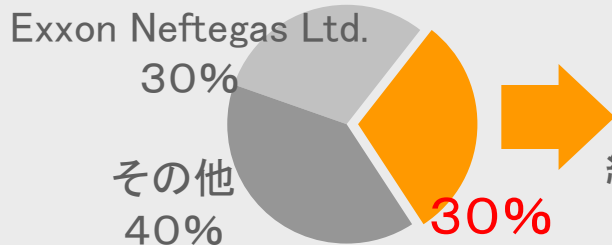
# 海外事業現況 ② サハリン1 プロジェクト

プロジェクト会社

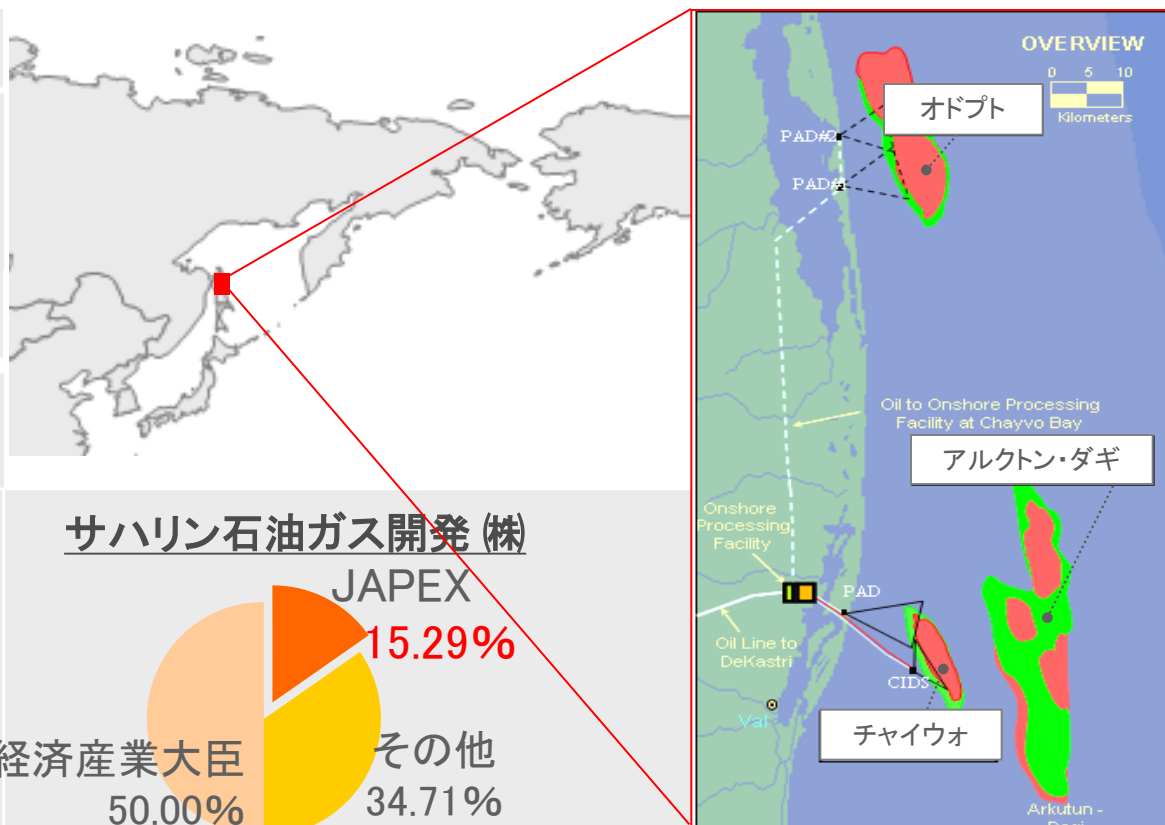
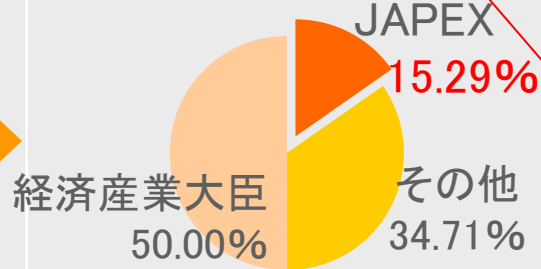
サハリン石油ガス開発(株)  
( SODECO )

権益比率

サハリン1 コンソーシアム



サハリン石油ガス開発(株)




鉱 区

チャイウォ、オドプト：生産中（合計原油生産量：約12万バレル/日 ※）

※ 当社見積もりによる、プロジェクト全体の2013年平均日産量

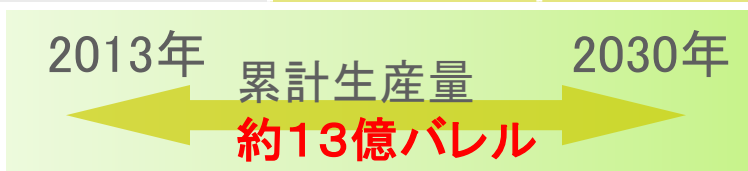
アルクトン・ダギ：2014年の生産開始に向けて開発中

# 海外事業現況 ③ イラク ガラフ油田開発

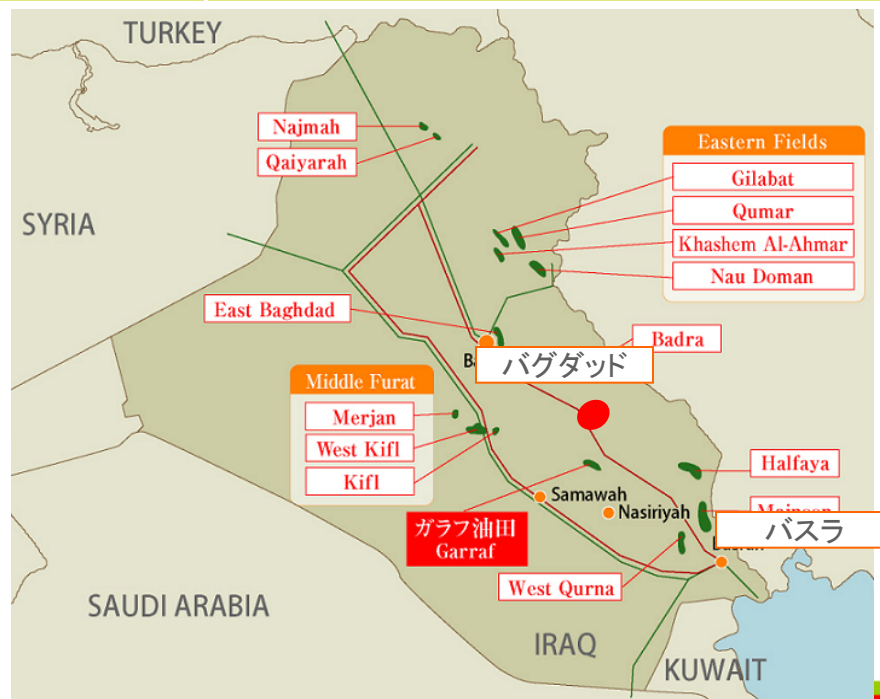
プロジェクト会社	(株)ジャペックスガラフ	
参加比率	 <b>30%</b> (資金負担40%)	オペレーター：PETRONAS
油田名	ガラフ油田	開発中

## ■開発スケジュール

2013年	日量 <b>3万5千バレル</b> 以上での商業生産開始後、日量 <b>6万バレル</b> 規模へ生産を拡大
2014年～2016年	段階的に生産量引き上げ
2017年	日量 <b>23万バレル</b> 到達予定



ガラフ生産原油処理設備



# 海外事業現況 ④ カナダオイルサンド

プロジェクト会社	カナダオイルサンド(株) (CANOS) オペレーター : Japan Canada Oil Sands Ltd. (JACOS)	
鉱区	ハンギングストーン 3.75 セクション (権益比率) 100% 約6,000~7,000 bbl/d	生産中 (2012年12月末累計生産量: 2,846万bbl)
	ハンギングストーン未開発地域 拡張開発計画 (権益比率) 75% (20,000bbl/d 規模から段階的拡張を予定)	開発作業中
	その他ビチューメン鉱区(コーナー、チャード、ソンベリー等) (権益比率) 12~100%	開発検討中



Hangingstone拡張開発エリアでの評価井掘削作業



## ■ 拡張開発スケジュール

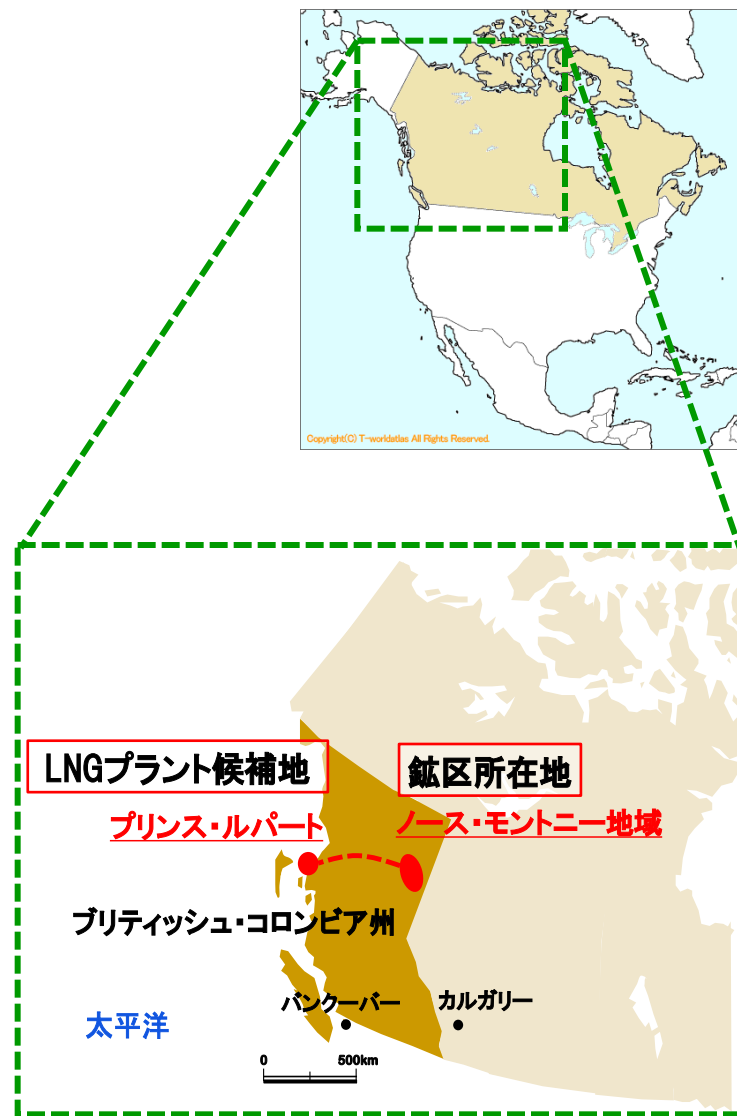
2012年	11月: 開発許可取得 12月: 最終投資意思決定
2013年	2月 : 開発工事着手
2016年	上期: 生産開始予定

# 海外事業現況 ⑤ カナダシェールガス・LNGプロジェクト

	シェールガス開発・生産プロジェクト (上流)	LNGプロジェクト (中流)
鉱区/ プラント 候補地	カナダ ブリティッシュ・コロンビア州ノース・モントニー地域	同州プリンス・ルパート レルー島
当社参加比率	10%権益 	10%持分 
オペレーター	PETRONAS社 (子会社含む)	PETRONAS社 (子会社含む)
現況	シェールガス生産・販売中	設備基本設計を実施中

## ■プロジェクトスケジュール

2013年4月26日	契約締結
2014年末	LNGプラント最終投資決定(FID) 予定
2014年～2018年	LNGプラント建設
2018年末	LNG生産開始(1200万トン/年)



# (参考)国内天然ガス事業とのインテグレーション

当社はカナダシェールガス・LNGプロジェクトと相馬LNG受入基地建設計画の推進を通じて国内天然ガス事業とのインテグレーションを図ります

## 相馬LNG受入基地の検討 仙台広域圏の拡販

FID検討中の相馬LNG受入基地と仙台パイプライン等の既存インフラの連携。

仙台広域圏を中心に新規天然ガス需要を開拓、供給セキュリティ効果も期待。

## 道央南部地域の拡販

勇払LNG受入基地およびLNG内航船を活用、相馬基地との連携による有機的なLNG供給システムの構築。

道央南部地域で新規天然ガス需要を開拓。

## カナダシェールガス・LNGプロジェクト

2014年末にLNGプラント建設FID(予定)  
2018年末にLNGの日本持込み(予定)



国内外を通じた  
天然ガス一貫供給体制の構築

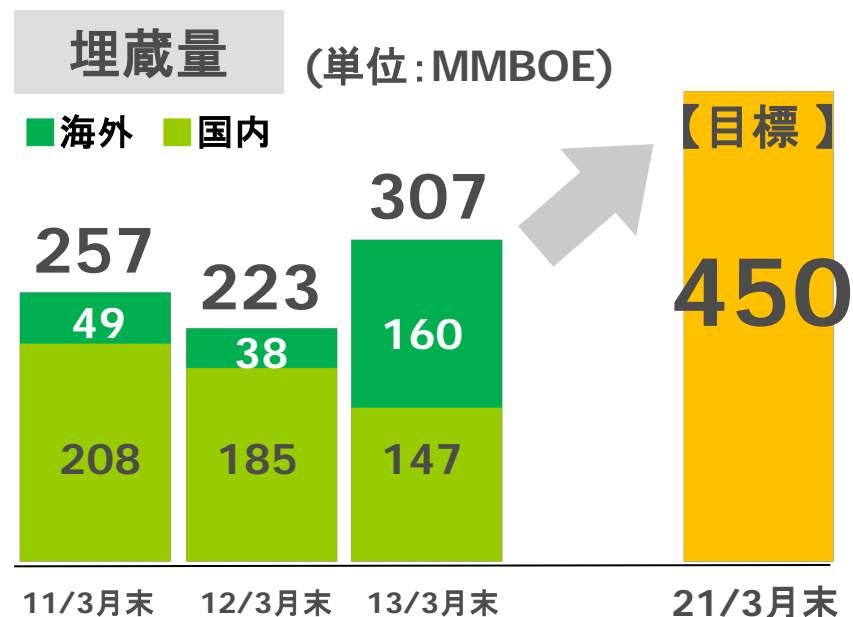
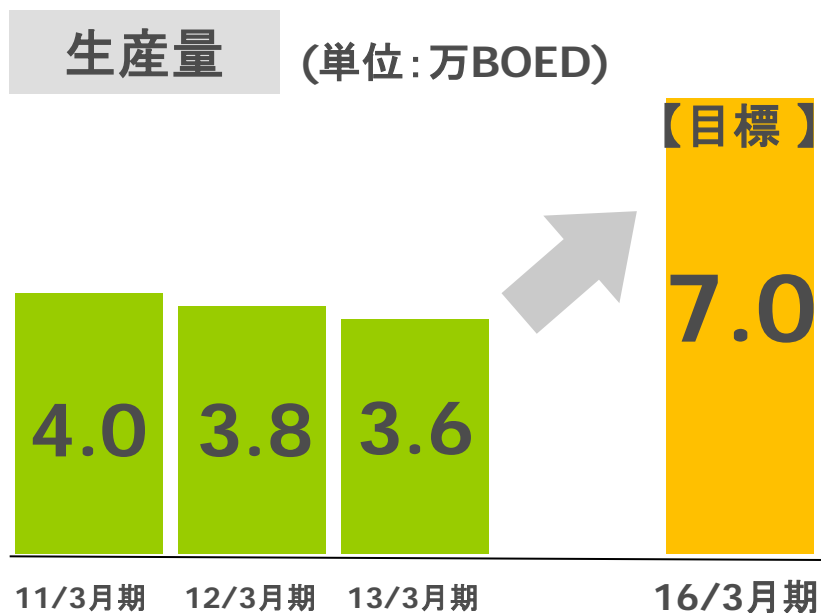
# 生産量・埋蔵量の推移

◆生産量・埋蔵量の2013年3月期実績はそれぞれ3.6万BOED、307MMBOE

◆生産量は勇払油ガス田の減退等により約5%減少

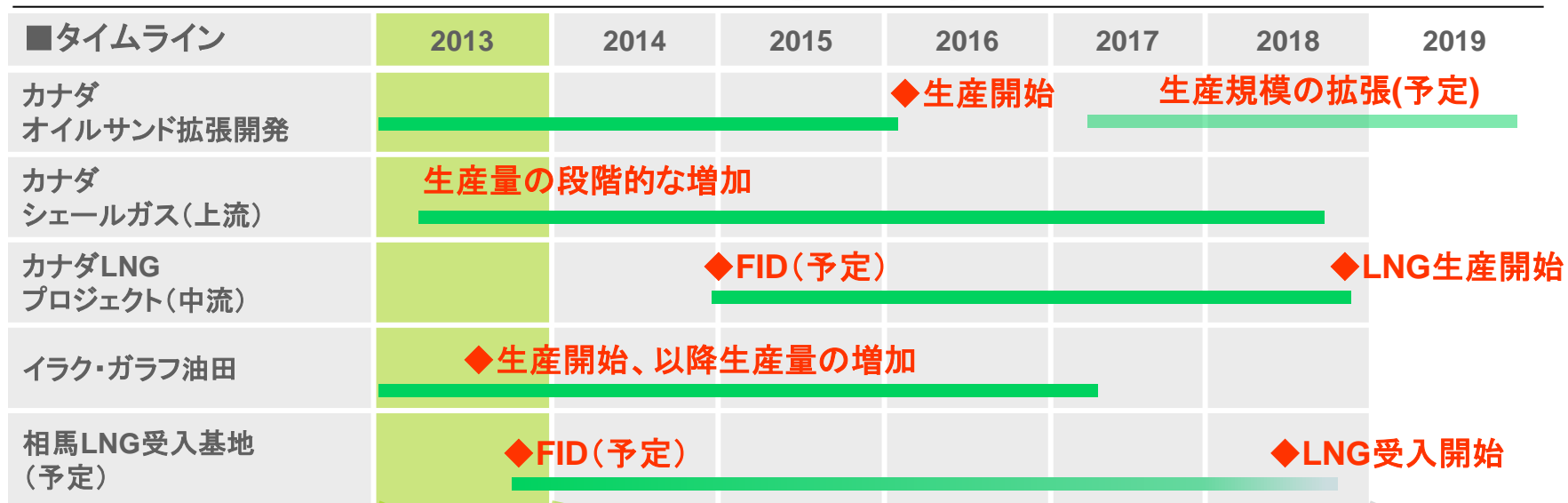
◆埋蔵量はカナダオイルサンドHangingstone拡張開発のFID等により約38%増加

◆今後、カナダシェールガス・LNGプロジェクトやカナダオイルサンドHangingstone拡張開発、イラク・ガラフ等の進捗、さらには新規案件取得等を通じて中期目標の達成を目指す



※上記生産量、埋蔵量は当社グループの経済的取分相当量

# プロジェクトタイムラインと投資規模



■投資規模・ファイナンス方針	2013年	2014年以降
総額	1,620億円	2,000～2,500億円
自己資金+FCF	約半分	JOGMECによる出資・債務保証の活用や プロジェクトファイナンスの利用等を通じて、 当社のデットエクスポージャーを適切な規 模にコントロール。財務健全性を確保。
借入+JOGMEC出資等	約半分	
負債等の残高見通し (連結子会社含む借入金・債務保証)	2013年3月末(実績) 640億円 2014年3月末(予想) 900億円	



# 14/3月期 設備投資計画

[単位:億円]	10/3 月期	11/3 月期	12/3 月期	13/3 月期	14/3 月期 (予想)
設備投資額	288	219	238	253	1,620
減価償却費	232	245	239	162	204

## 主な設備投資項目

■ 国内 設備投資 90億円

国内生産設備 増強・改修

■ 海外 設備投資 1,530億円

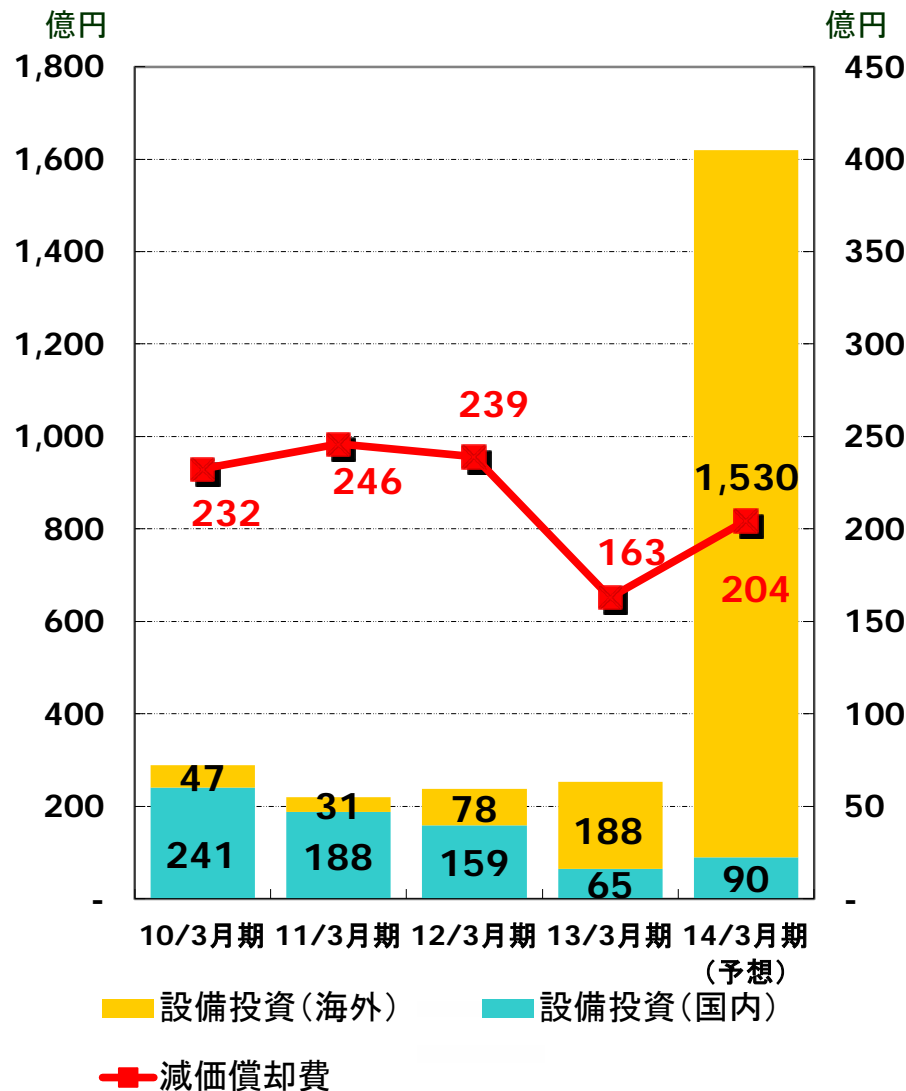
カナダ シェールガス・LNGプロジェクト

Hangingsstone拡張開発

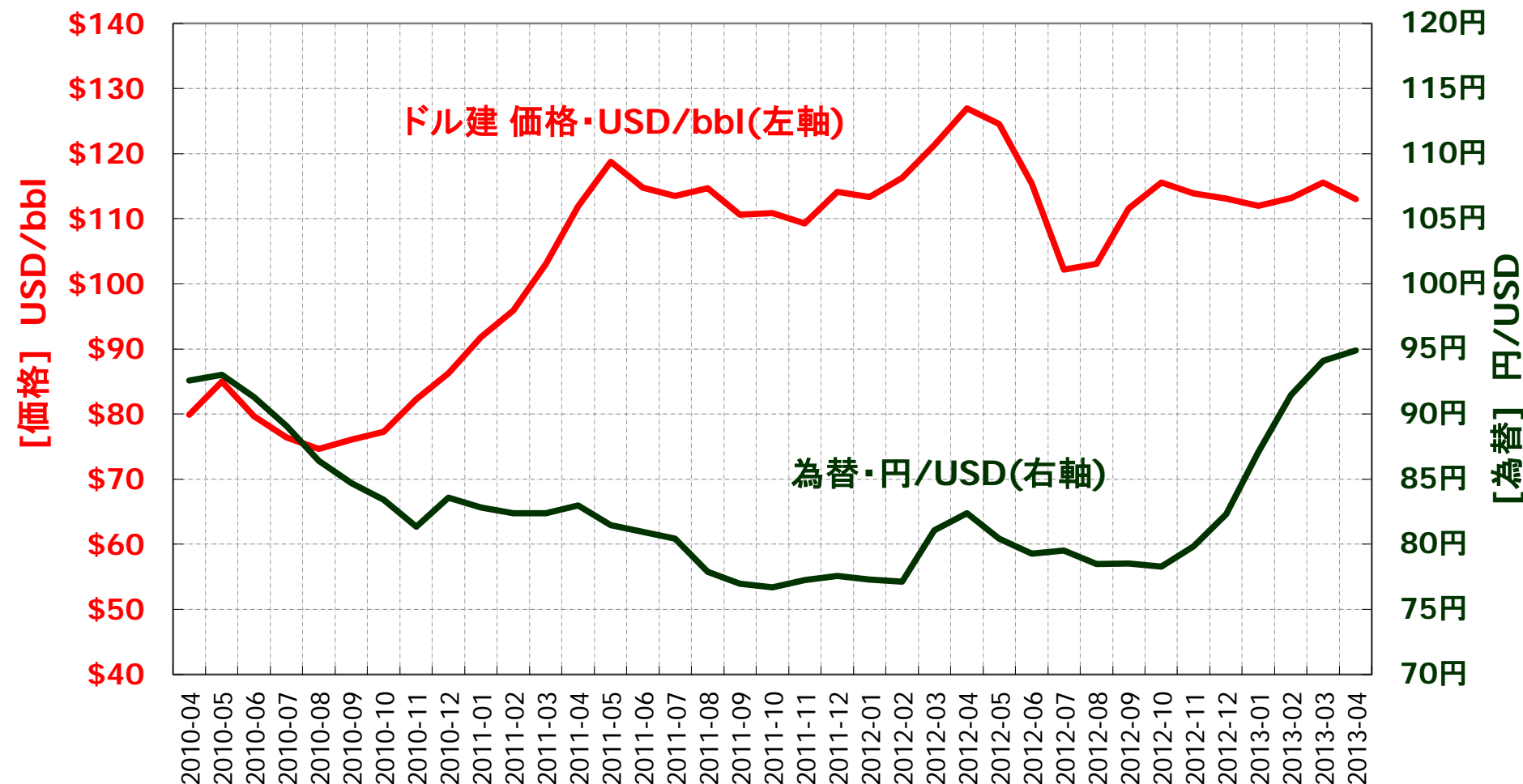
イラク ガラフ油田 開発

設備投資資金においては、自己資金及びフリーキャッシュフローにおいて約半分をまかない、残りを借入・JOGMEC出資等により充当

※減価償却費は、生産物回収勘定の回収を含む



# 原油価格と為替の動き



2013年4月上旬(4/1-4/10)分のCIF価格(速報)

**USD 113.01/bbl    94.89 円/USD**

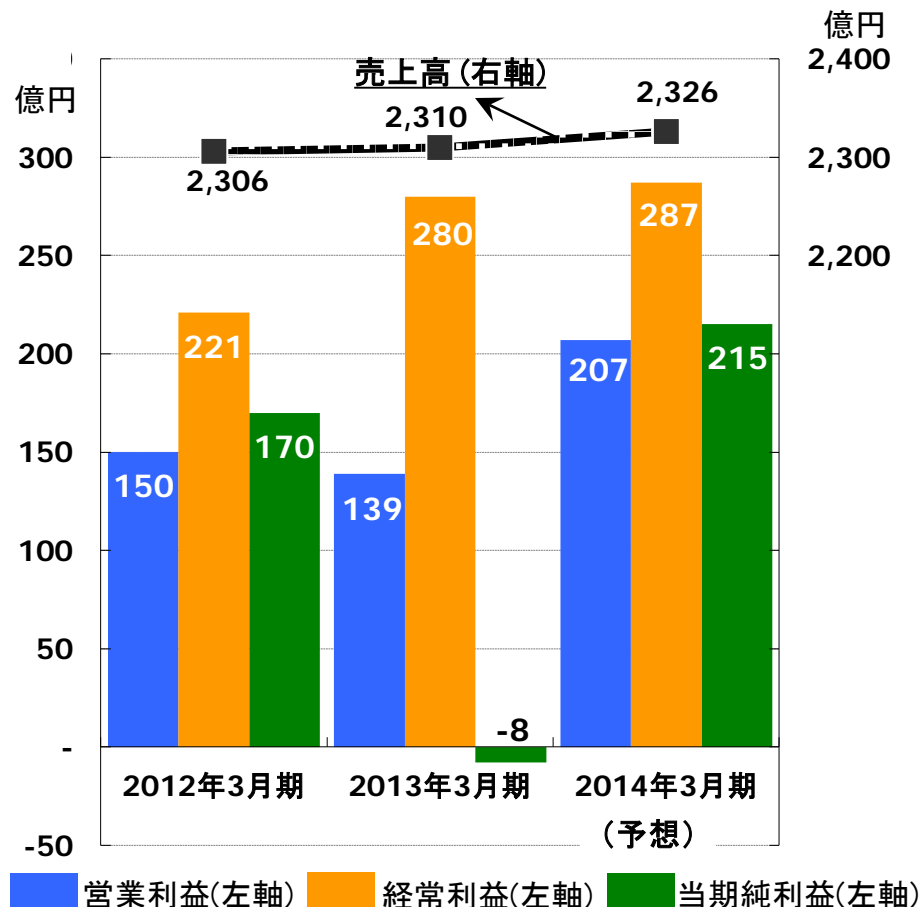
# 13/3月期決算、14/3月期予想【ハイライト】

## ■ 13/3月期実績（12/3月期実績比）

[ 億円 ]	12/3月期 実績 (a)	13/3月期 実績 (a)	比較増減	
売上高	2,306	2,310	+4	+0%
営業利益	150	139	▲11	▲7%
経常利益	221	280	+59	+27%
当期純利益	170	▲8	▲178	-%
油価 (\$/bbl)	112.43	114.67	+2.24	+2%
為替 (¥/\$)	78.93	81.71	+2.78	+4%

## ■ 14/3月期予想（13/3月期実績比）

[ 億円 ]	13/3月期 実績 (a)	14/3月期 予想 (e)	比較増減	
売上高	2,310	2,326	+16	+1%
営業利益	139	207	+68	+49%
経常利益	280	287	+7	+2%
当期純利益	▲8	215	+223	-%
油価 (\$/bbl)	114.67	100.00	▲14.67	▲13%
為替 (¥/\$)	81.71	90.00	+8.29	+10%



13/3月期: 減損損失(370億円)を計上するも、  
原価の減少や販売価格上昇等により損失は大幅縮小  
14/3月期: 減損による償却費の減少から収益性が改善

# 2013年3月期 決算概要

代表取締役副社長  
佐藤 弘

# 13/3月期 決算概要【ハイライト】

[百万円]	12/3月期 通期 実績(a)	13/3月期 通期			
		当初予想 5.11公表(e)	修正予想① 10.26公表(e)	修正予想② 2.8公表(e)	実績(a)
売上高	230,638	214,653	222,228	228,749	231,086
営業利益	15,045	10,003	10,304	11,925	13,906
経常利益	22,159	16,819	18,855	25,031	28,082
当期純利益	17,027	16,526	▲11,630	▲5,152	▲865
[油価と為替の前提]					
原油CIF価格 (USD/bbl)	112.43	100.00	112.08	113.99	114.67
為替/米ドル (Yen/USD)	78.93	80.00	80.19	81.18	81.71
ビチューメン価格 (CAD/bbl)	49.81	52.91	48.76	50.69	50.71
為替/カナダドル (Yen/CAD)	76.22	80.00	80.00	87.05	87.05

◆ 13/3月期 当初予想 (5.11公表) → 修正予想① (10.26公表)

【+】原油価格の上昇 【-】勇払油ガス田に係る事業用資産の減損

◆ 13/3月期 修正予想① (10.26公表) → 修正予想② (2.8公表)

【+】原油価格の上昇 【+】為替の変動 【+】営業外損益の増益

◆ 13/3月期 修正予想② (2.8公表) → 決算

【+】原油、天然ガス販売価格の上昇及び為替の変動 【+】営業外損益の増益

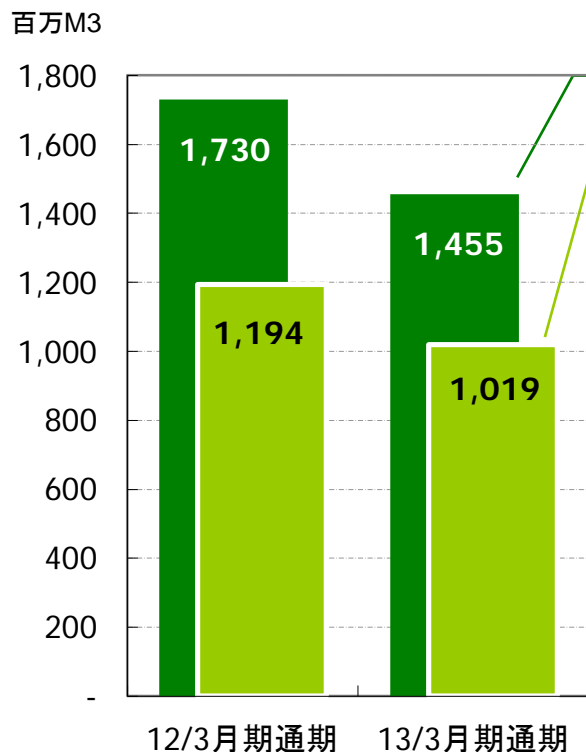
経常利益 280 億円 (2.8公表比 +30億円)

当期純利益 ▲8 億円 (2.8公表比 +42 億円)

## 13/3月期 天然ガス 販売状況【前期比】

販売量: 百万M3 売上高: 百万円		12/3月期		13/3月期		比較増減	
		4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期(a)	4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期(a)	4-9月 2Q累計	4-3月 通期
天然ガス:	販売量	742	1,730	685	1,455	▲56	▲274
	売上高	31,170	74,957	30,054	69,795	▲1,115	▲5,162
うち、国産ガス:	販売量	522	1,194	498	1,019	▲24	▲175

本資料における「国産ガス」の販売量は、買入ガスを除く数値を記載しています。



**販売量 前期比 ▲274百万M3(▲16%)減少**  
産業用需要減少、生産量減少に伴う販売量減少

**売上高 前期比 ▲51億円(▲7%) 減少**  
販売量減少▲274百万M3(▲16%)による減少幅を、  
天然ガス販売価格上昇を要因とする増収によって抑制

## 13/3月期 原油 販売状況【前期比】

		12/3月期		13/3月期		比較増減	
		4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期(a)	4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期(a)	4-9月 2Q累計	4-3月 通期
原油:	販売量(千KL)	896	1,778	920	1,684	+24	▲93
	売上高(百万円)	46,649	89,891	46,463	88,529	▲186	▲1,362

## 【権益原油の内訳】

国産原油	販売量(千KL)	239	529	240	468	+0	▲60
	売上高(百万円)	13,925	30,351	14,291	28,167	+365	▲2,183
海外原油	販売量(千KL)	1	2	1	5	▲0	+3
	売上高(百万円)	84	128	61	290	▲22	+161
ビチューメン	販売量(千KL)	175	382	187	349	+12	▲33
	売上高(百万円)	4,207	9,137	4,708	9,694	+501	+557

## 【油価と為替の前提】

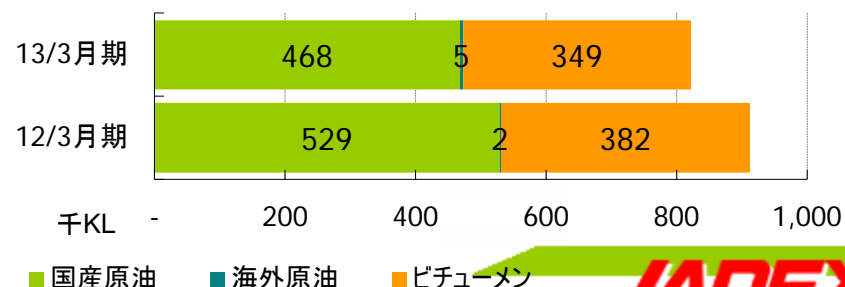
原油CIF価格	(USD/bbl)	112.38	112.43	116.16	114.67	+3.78	+2.24
為替/米ドル	(Yen/USD)	81.07	78.93	80.35	81.71	▲0.72	+2.78
ビチューメン価格	(CAD/bbl)	45.70	49.81	52.02	50.71	+6.32	+0.90
為替/カナダドル	(Yen/CAD)	83.38	76.22	76.77	87.05	▲6.61	+10.83

国産原油 : 【-】生産数量の減少

ビチューメン : 【+】原油価格上昇及び円安

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は買入原油を除いており、「ビチューメン」の価格及び売上高はロイヤリティ控除後の数値です。

また、「海外原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社であるJapex (U.S.) Corp.の数値を記載しています。



## 13/3月期 決算概要【前期比】

単位：百万円	12/3月期	13/3月期	比較増減
	通期実績 (a)	通期実績 (a)	
売上高	230,638	231,086	+448
売上総利益	56,278	59,010	+2,732
探鉱費	7,805	13,086	+5,280
販売管費	33,426	32,017	▲1,409
営業利益	15,045	13,906	▲1,139
営業外損益	7,114	14,176	+7,062
経常利益	22,159	28,082	+5,922
特別損益	311	▲34,522	▲34,833
法人税等	4,746	▲6,439	▲11,674
少数株主利益	696	1,352	+655
当期純利益	17,027	▲865	▲17,892

損益変動要因（MEMO）  
「増益要因を＋」、「減益要因を▲」  
で記載

## 売上総利益

国内原油天然ガス +2億円  
LNG代替費用 ▲3億円  
受託輸送収入 +32億円

## 探鉱費

国内探鉱 ▲30億円  
海外探鉱 ▲22億円

## 営業外損益

受取配当金 +41億円  
為替差損益 +17億円

## 特別損益

権益譲渡益 +28億円  
勇払油ガス田の生産操業  
に係る事業用資産の減損 ▲370億円



# 2014年3月期 業績予想

代表取締役副社長  
佐藤 弘

## 14/3月期 業績予想【ポイント】

[百万円]	13/3月期		14/3月期		比較増減	
	4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期 (a)	4-9月 2Q累計 (e)	4-3月 通期 (e)	4-9月 2Q累計	4-3月 通期
売上高	105,958	231,086	99,741	232,692	▲6,218	+1,606
営業利益	1,778	13,906	9,294	20,722	+7,515	+6,815
経常利益	3,062	28,082	12,462	28,783	+9,400	+701
当期純利益	▲24,433	▲865	9,677	21,511	+34,110	+22,377

[油価と為替の前提]

原油CIF価格 (USD/bbl)	116.16	114.67	100.00	100.00	▲16.16	▲14.67
為替/米ドル (Yen/USD)	80.35	81.71	90.00	90.00	+9.65	+8.29
ビチューメン価格 (CAD/bbl)	52.02	50.71	47.25	45.87	▲4.77	▲4.84
為替/カナダドル (Yen/CAD)	76.77	87.05	90.00	90.00	+13.23	+2.95

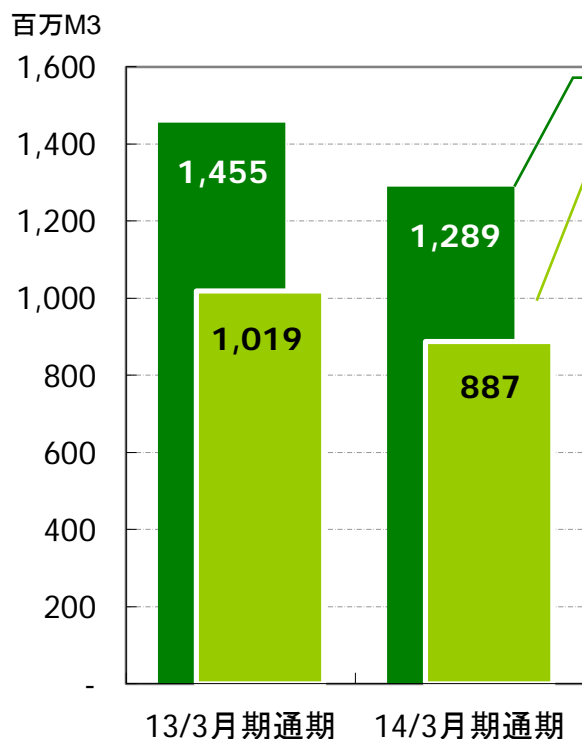
## 【14/3月期 前期比 ポイント】

- 営業利益 +68 億円 増益 探鉱費 +39 億円
- 経常利益 +7 億円 増益 営業外損益 ▲61 億円 受取配当金の減少
- 当期純利益 +223 億円 増益 特別損益 +344 億円  
法人税他 ▲134 億円

## 14/3月期 天然ガス 販売予想

販売量: 百万M3 売上高: 百万円		13/3月期		14/3月期		比較増減	
		4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期(a)	4-9月 2Q累計 (e)	4-3月 通期(e)	4-9月 2Q累計	4-3月 通期
天然ガス:	販売量	685	1,455	588	1,289	▲97	▲167
	売上高	30,054	69,795	30,519	68,478	+465	▲1,317
うち、国産ガス:	販売量	498	1,019	416	887	▲83	▲133

本資料における「国産ガス」の販売量は、買入ガスを除く数値を記載しています。



**販売量 前期比 ▲167百万M3(▲11%)減少**  
生産量減少に伴う販売量減少

**売上高 前期比 ▲13億円(▲2%) 減少**  
販売量減少▲167百万M3(▲11%)による減少幅を、  
天然ガス販売価格上昇を要因とする増収によって抑制

## 14/3月期 原油 販売予想

		13/3月期		14/3月期		比較増減	
		4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期(a)	4-9月 2Q累計 (e)	4-3月 通期(e)	4-9月 2Q累計	4-3月 通期
原油:	販売量(千KL)	920	1,684	767	1,897	▲154	+212
	売上高(百万円)	46,463	88,529	38,524	95,935	▲7,939	+7,406

## 【権益原油の内訳】

国産原油	販売量(千KL)	240	468	194	384	▲47	▲84
	売上高(百万円)	14,291	28,167	11,180	22,159	▲3,111	▲6,009
海外原油	販売量(千KL)	1	5	7	369	+6	+363
	売上高(百万円)	61	290	363	19,881	+302	+19,591
ビチューメン:	販売量(千KL)	187	349	179	371	▲8	+21
	売上高(百万円)	4,708	9,694	4,815	9,623	+106	▲72

## 【油価と為替の前提】

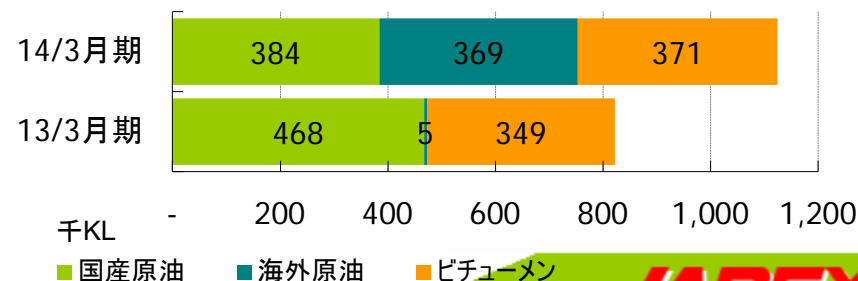
原油CIF価格	(USD/bbl)	116.16	114.67	100.00	100.00	▲16.16	▲14.67
為替/米ドル	(Yen/USD)	80.35	81.71	90.00	90.00	+9.65	+8.29
ビチューメン価格	(CAD/bbl)	52.02	50.71	47.25	45.87	▲4.77	▲4.84
為替/カナダドル	(Yen/CAD)	76.77	87.05	90.00	90.00	+13.23	+2.95

国産原油 : 【-】生産量低下及び原油価格低下

海外原油 : 【+】ジャペックスガラフ生産開始

ビチューメン : 【-】原油価格下落

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は買入原油を除いており、「ビチューメン」の価格及び売上高はロイヤリティ控除後の数値です。また、「海外子会社原油」の販売量・売上高は、海外連結子会社2社(Japex (U.S.) Corp.、株式会社ジャペックスガラフ)の数値の合計を記載しています。



## 14/3月期 通期 業績予想

単位：百万円	13/3月期	14/3月期	比較増減
	通期実績 (a)	通期予想 (e)	
売上高	231,086	232,692	+1,606
売上総利益	59,010	61,972	+2,961
探鉱費	13,086	9,184	▲3,903
販売管費	32,017	32,066	+49
営業利益	13,906	20,722	+6,815
営業外損益	14,176	8,062	▲6,115
経常利益	28,082	28,783	+701
特別損益	▲34,522	▲90	+34,433
法人税等	▲6,439	6,502	+13,429
少数株主利益	1,352	680	▲672
当期純利益	▲865	21,511	+22,377

損益変動要因（MEMO）  
「増益要因を＋」、「減益要因を▲」  
で記載

## 売上総利益

国内原油天然ガス +6億円  
LNG代替費用 +23億円

## 探鉱費

国内探鉱 ▲2億円  
海外探鉱 +41億円

## 営業外損益

持分法投資損益 +23億円  
受取配当金 ▲67億円  
為替差損益 ▲15億円

## 特別損益

（前期計上特別損益の影響額）  
権益譲渡益 ▲28億円  
勇払油ガス田の生産操業  
に係る事業用資産の減損 +370億円

# 油価・為替の前提及び収益への影響

油価と為替 の前提	原油CIF価格 USD 100 /bbl	為替 90円/USD	ビチューメン CAD 45.87 /bbl ( 90 円/CAD )
収益 影響額	USD <b>1</b> /bbl の 油価上昇による 利益増加額は…	<b>5</b> 円/USD の 円安による 利益増加額は…	CAD <b>1</b> /bbl の ビチューメン価格上昇による 利益増加額は…
営業利益	390 百万円	1,780 百万円	( 233 万CAD ) 210 百万円
当期純利益	260 百万円	1,270 百万円	( 153 万CAD ) 140 百万円

[為替と油価の前提]		13/3月期			14/3月期			比較増減
		1H 1Q-2Q (a)	2H 3Q-4Q (a)	通期 (a)	1H 1Q-2Q (e)	2H 3Q-4Q (e)	通期 (e)	
原油CIF価格	(USD/bbl)	116.16	113.12	114.67	100.00	100.00	100.00	▲14.67
為替/米ドル	(Yen/USD)	80.35	83.16	81.71	90.00	90.00	90.00	+8.29
ビチューメン価格	(CAD/bbl)	52.02	49.19	50.71	47.25	44.58	45.87	▲4.84
為替/カナダドル	(Yen/CAD)	76.77	87.05	87.05	90.00	90.00	90.00	+2.95

注1: 「ビチューメン」の価格はロイヤリティー控除後の価格を表記しております。

注2: 為替変動の影響に関して、上記に示したものの以外に、外貨建金銭債権債務の為替レート換算差額が発生します。  
また、実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因によっても影響されます。